

執行方針を尊重しながら、学校教育及び社会教育の施設整備とソフト事業の推進に配慮してまいります。

第五は、「町民参加のまちづくりをすすめる」施策であります。

私は、地域住民の連帯感、郷土愛を高め、コミュニティ意識を醸成し、町民の行政参加の推進を図ることによって、町民主体のまちづくりに努めてまいります。

具体的には、町民の立場に立ったきめ細かな情報提供、広報誌やホームページの充実などで、積極的な情報提供をしてまいります。同時に、町民の声を聞く町政懇談会の開催や町内会長会議の充実を図るとともに、政策検討段階から

多様な意見を聴くための「パブリック・コメント制度」の考究を進めてまいります。

また、従来に引続き「出前講座、まちづくりトーク」の実施、町予算を分かり易く説明した「わが町の家計」の発行を実施します。

コミュニティの成熟は、お年寄りや若者、女性の参画・交流をはかり、こころを通い合わせることから始まります。



委員会や審議会等への女性や若者の登用を積極的

に推進してまいります。国・地方を通じての厳しい財政状況を克服し、住民の福利を維持していくためには、現行のシステムを抜本的に見直し、大胆な改革を進める必要があります。

ほろのべ自律プラン策定住民会議から提言いただきました『ほろのべ自律プラン』を最大限尊重しまして、平成17年度を初年度とする『第4次行政改革』としてスタートさせます。

行政改革には、行政サービスの改善等による経費の節減は避けて通れません。このため、町民の皆さんにも痛みを分かち合っていたりたく議案及び予算を提案しております。着実な推進のために、議会議員及び町民の皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。

4 むすび

以上、平成17年度の町政執行に臨む所信の一端を述べさせていただきます。

わが国経済は、バブル崩壊後の「人、設備、不良債権の過剰」という負債の遺産の整理がつき、一層の構造改革が推進されようとしています。

地方においても、少子高齢化の進展、公共事業等の縮減の中にあつて、雇用不安や所得の低迷等さまざまなマイナス要素がのしかかかってきています。

私たちは、自主・自律の道を選択しました。幾多の苦難を乗り越えてきた先人を見習い、今こそ『お年寄りの知恵と、若者の活力、女性の視点』で、21世紀を担う子供たちに責任と誇りをもって引き継げる『元氣な幌延

町』を築きあげなければなりません。

私は、平成17年度を「自律元年」と位置づけ、「新生幌延丸」の船長として、厳しい現実に向かい、「元氣な幌延町」づくりのために、職員ともども努力してまいります。

議会議員の皆さん、町民の皆さんの一層のご理解とご協力を心からお願ひ申し上げ、私の所信表明といたします。

